

(様式3)

事業所名 グループホームかぞく

## 目標達成計画

作成日: 平成 26年 3月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・地域交流・連携・協力関係の構築	近隣住民との関わり合い、理解、連携を図るため、地域交流を働きかけ強化が必要	新興住宅地の条件下で困難とは思われるが、地域理解を高めより良い理解とご協力をためてる活動を期待する。運営推進会議などで作成している、会報などを活用し地域理解を高め交流と地域支援をお互いに即す働きかけ、広報活動を行うようにする。ホーム主催のイベント、行事、講習会への参加要請などで具体的な行事計画と案内告知！	12ヶ月
2		・職員ストレスに対する対応策	ストレスに対する取組み、実施策に関しては限界や評価が困難と考える。	個々、個人差があるストレス度に関しては極めて有効なストレス解決策は中々無いのが現状…離職率が高く、「燃え尽き症候群」などによる離職事例などを考慮しても決定的、かつ有効な対策、手段が見当らず、適切な対応策がなされていないのが現状と考えます。成功事例、有効な対応策があれば、是非お伺いしたい！場、仕事の時間を明確に(始業時→終業時)個々の時間、関わり合いの人間関係を大切にしようとお話している	継続的に取り組み必要…
3		人材育成…個々のレベルアップ	段階的な育成計画の作成	経験年数や有資格などを個々レベルで考慮した育成計画を検討の上、作成し実施する。…当事業所の形態として幅広い年齢層、経験年数なので統一的な育成手段では偏る可能性が高い。	24ヶ月
4		利用者ご本人とご家族の想いの把握に努める。	本人の「想い」を聞ける体制の構築	利用者との会話の対応を増加できる体制作りと聞く姿勢、積極的傾聴を心がける。	継続的に取り組み必要…
5		外出頻度を増やす工夫・検討	グループホームの施設全体的な各利用者の状況を考えた外出頻度の向上を図る	グループホームの施設全体的な各利用者の状況…各利用者毎の外出可能な状態の把握と外出の方策の検討	継続的に取り組み必要…

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。